

授業科目名	子育て支援	大学名	作新学院大学短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月26日～1月30日）
学部・学科等	幼児教育科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	1学年以上	授業形態	演習
単位数	1単位	授業会場	作新学院大学 講義室
担当教員名	坪井 真		
電話番号 （代表者名）	028-667-7111（大代表）	e-mail アドレス	tsuboi@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mailや電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 保護者の皆さんの「親育ち」を支援する知識・技術や価値観（視点や考え方）などを理解するため、本科目では、以下の到達目標を位置づけます。 (1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解し、考察することができる。 (2)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解し、考察することができる。 (3)主体的な姿勢で予習・復習およびアクティブラーニングに取り組むことができる。</p> <p><前提とする知識・経験> 子ども家庭福祉やソーシャルワークの知識・経験があれば、本科目の理解が深まる。</p> <p><授業内容と具体的な進め方> 近年の保育・幼児教育は、子ども一人ひとりの発達保障や学習保障とならび、多種多様なニーズをもつ子育て家庭の支援も重視されています。そこで本授業は、事例検討を中心としたアクティブラーニング（演習プログラム）により、保育の専門性を基盤とした保護者に対する相談援助の実際や特徴、子育て家庭の多様なニーズに即した支援内容・方法・技術（ソーシャルワークの応用など）を学び、保護者の皆さんの「親育ち」を支援する知識・技術や価値観（視点や考え方）を理解します。</p> <p><授業計画> 第1回 子どもの保育とともに行う保護者の支援 第2回 日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成 第3回 保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 第4回 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供 第5回 保育者が取り組む子育て支援の展開①：支援計画の策定と実践・記録 第6回 保育者が取り組む子育て支援の展開②：連携・協働と社会資源の活用 第7回 前半の確認テスト 第8回 保育所における支援 第9回 地域の子育て家庭に対する支援 第10回 障がいのある子どもと家族（保護者など）に対する支援 第11回 特別な配慮を要する子どもと家族（保護者など）に対する支援 第12回 要保護児童と家族（保護者など）に対する支援 第13回 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解 第14回 後半の確認テスト 第15回 総括</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 小原敏郎・他「演習・保育と子育て支援」（みらい ¥2,200+税）</p> <p><成績評価法> ①定期試験（期末試験）で授業内容全般の理解度を評価します。（全体の50%） ②演習の成果、確認テスト（2回）、復習の学習成果により、学習状況を総合的に評価します。（全体の50%）</p> <p><教員からのメッセージ> 育・幼児教育の仕事は、子ども一人ひとりの発達保障や学習保障だけでなく、多種多様なニーズ（課題・希望）をもつ子育て家庭の支援も重要です。本授業をとおして、保護者の皆さんの「親育ち」を支援する知識・技術や価値観（視点や考え方）を身につけてください。</p>		